



平成21年5月12日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男  
(JASDAQ・コード番号: 6666)  
問合せ先 専務取締役 岩下 功  
総務本部担当  
TEL 0551-22-1211

特別損失の発生および繰延税金資産の取崩しならびに

平成21年3月期業績予想(個別)の修正に関するお知らせ

当社において、下記のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行なうこととしました。また、併せて平成21年2月9日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

特別損失につきましては、平成20年11月7日に公表した「特別損失の発生及び平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」で130百万円(個別では0.7百万円)と発表しておりますが、第4四半期会計期間において新たに下記の追加計上をすることとなりました。

(連結)

連結におきましては、生産体制の再構築に伴い生産設備の固定資産除却損150百万円及び減損損失87百万円、貸倒引当金繰入額における為替差異△11百万円、その他人員削減に伴う退職特別加算金等35百万円、合計262百万円を追加計上いたします。

これにより期首からの累計は、397百万円となっております。

(個別)

個別におきましては、上記生産設備の固定資産除却損124百万円、連結子会社の業績悪化に伴う関係会社株式評価損49百万円、その他有価証券評価損0.6百万円、合計175百万円を追加計上いたします。

これにより期首からの累計は、180百万円となっております。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

当社の繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、その全額を取崩し、平成21年3月期の個別決算において、97百万円を法人税等調整額に計上いたします。

### 3. 個別業績予想の修正

(金額の単位：百万円)

平成21年3月期通期個別業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	5,459	△101	△100	△247	△32円99銭
今回修正予想（B）	5,492	△63	△43	△328	△43円87銭
増減額（B－A）	33	38	56	△80	－
増減率（％）	0.6	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	8,567	832	843	489	65円36銭

### 4. 修正の理由

売上高につきましては、前回予想の5,459百万円に対し、33百万円増加の5,492百万円となる見込みであります。これは主に、為替水準が予想より円安に推移したこと等により在外連結子会社向けの内部売上高が増加したことによるものであります。

営業損失は、前回予想の101百万円に対し、38百万円減少の63百万円となる見込みであります。これは主に、上記売上高の増収効果や労務費を中心とした固定費の縮減が予想以上の効果があったことによるものであります。

経常損失は、前回予想の100百万円に対し、56百万円減少の43百万円となる見込みであります。これは主に、上記理由に加え、関係会社からの受取配当金が予想を上回ったことや期末為替レートが予想を上回ったことによる為替差益の増加、また借入金が予想を下回ったことによる支払利息の減少等によるものであります。

当期純損失は、前回予想の247百万円に対し、80百万円増加の328百万円となる見込みであります。これは主に、上記理由に加え、前述の固定資産除却損、関係会社株式評価損及び繰延税金資産の取崩しが発生したこと等によるものであります。

なお、今回の特別損失の計上等は、連結業績予想におきましては、前回予想へ計上されております。また、上記個別業績予想の修正に関する主要因は概ね連結決算において相殺消去される項目であり、連結業績への影響は軽微であります。よって、通期連結業績予想は修正しておりません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上